

「ハラスメント対策」学習会開きました！

～ステーションとして対策をとることが利用さんを守ることに結び付くんだ～



都内、みさと、東葛ブロックから職員総勢33名が参加。講義では、ハラスメントの分類から、対応の仕方、実際に犯罪につながるケースもあり、利用者さんを守るためにも対策をしっかりとることが重要との話がありました。

日常業務に直結する内容に、みんな真剣に耳を傾けていました。



**所長2人の寸劇で
暴力のエスカレート
を実感!!**

「どんな理由や背景があっても暴力・ハラスメントは、決して許されるものではありません。」講師の二階堂部長の声にも力が入ります。

「こんな時あなたならどうする？」

「包丁をもって、夫婦喧嘩が始まったら？」「突然、腿を触ってこられたら？」などなど、具体的に、いくつかの状況設定問題を、グループで検討。みんな向き合う表情は、真剣そのもの。



最後は、グループ発表。それぞれが、話し合った対応策を報告し合いました。日常から様々なシチュエーションを想定して、対応策を話し合いスタッフ間で共有しておくことが大切とまとめました。



次は、何を勉強しようかな？勤医会は、座学から演習まで、仲間同士の高めあいを大切にしています。